

平成30年10月18日

感染症の予防のための情報提供について

病 名	細菌性赤痢				
年齢及び性別	44歳 ・ 女性				
職 業	無職				
住 所	鈴鹿市				
発病年月日	平成30年10月8日				
診断年月日	平成30年10月17日				
【患者発生の経過】 平成30年9月9日～10月10日まで中国に滞在。 10月 8日 水様性下痢の症状がみられた。 12日 発熱、水様性下痢の症状がみられた。 13日 症状が続くため、鈴鹿市内の医療機関を受診した。同日、別の医療機関を受診した。 17日 13日の便検査の結果から細菌性赤痢と診断された。 17日現在、症状は改善しています。					
【防疫処置】 接触者の健康状況調査、検便の実施及び消毒の指導（鈴鹿保健所）					
【県内の細菌性赤痢患者発生状況】					
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	※平成30年
患 者	2	0	1	0	2
保菌者	0	0	0	0	1
計(感染者)	2	0	1	0	3
※平成30年1月1日～平成30年10月18日現在まで本件を含む					

【自分できる予防の対策】

細菌性赤痢感染症は、赤痢菌に汚染された食物・水・手指等を通じて口から感染（経口感染）しますので、以下のことに注意しましょう。

- ① 食前・用便後には石けんを用いて、手を洗いましょう。
- ② 冷凍食品等は、食材の中まで火がとおるよう十分加熱しましょう。
- ③ 海外旅行中や帰国後に腹痛・下痢等の症状があった場合は、速やかに検疫所や医療機関の健康診断を受けましょう。